

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	老年心理学 (Aging Psychology)		
ナンバリングコード	E21009	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 心理学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E045951	クラス名	-
担当教員名	山本 義史		
履修上の注意、履修条件	遅刻、講義中の携帯電話の使用、おしゃべり、無断外室など、他の学生に迷惑のかかる行為は禁止です。大学生として最低限のマナーは守って履修してください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	「高齢者心理学」(2008) 榎藤恭之(編著)、朝倉書店。 他、授業中、適宜指示します。		
関連科目	心理学、発達心理学、青年心理学、臨床心理学		

○基本情報	
授業の目的	本講義を通して、「こころの力」「社会人基礎力」「職業能力」「専門能力」の4つの力が結集した「人間力」を育成をベースに、社会貢献や地域の活性化・福祉に必要な実践的な知識・技術を習得します。特に、専門的力量的の育成として人間行動を心理学の知見から得られた心理的加齢(Aging)の観点から考察し、自己の人生の分析・総合や社会の福祉に役立てることを目標とします。そして、それらをもとに自己の生き方をも考えます。
授業の概要	これまでに得られた心理学の知見をもとに、成長すること、年を重ねること、生きることを自分の人生に引き寄せて考えます。毎回の授業内容を整理したワークノートを配付して、それに記入しながら学習を進めます。 毎回次週のワークノートを配付しますので、ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。授業終了時に課題が出ますから、毎回ショートレポートを書いて提出します。提出方法は講義時に指示します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	加齢に伴う人間行動や高齢者に関心をもち、自分の行動や身の回りの高齢者に引き寄せて考えるようになる。		20点	
【知識・理解】	高齢者の行動について知識をもち、理解する。	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	高齢者心理学の概念で高齢者の行動が表現できるようになり、高齢者と適切にかかわれるようになる。		20点	
【思考・判断・創造】	高齢者との関係や自分の行く末・生き方が考えられるようになる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
授業後の毎回の与えられた課題に応じて、授業中に学んだ心理学的成果や一般論を考察し、自分や身の回りの高齢者に引き寄せて問題解決をめざし、創造的に論じていけば、4点/1回(×15回=60点)となります。関心・意欲・態度、知識・理解、技能・表現・コミュニケーション、思考・判断・創造の観点から総合的に評価します。ショートレポートについては、次回以降の授業中に講評・解説または個別に、フィードバックを行います。評価方法は以下の通りです。 A(4点) 講義の内容をよく理解し、強い関心をもって創造的な自分の考えをしっかりと述べている。 B(3点) 講義の内容をよく理解し、振り返ることができている。 C(2点) 講義の内容をだいたい理解し、振り返ることができている。 D(1点) 講義の内容を一部理解し、振り返ることができている。 E(0点) 留意から外れた解答になっている。	

○その他	
期末試験では、高齢者心理学について授業範囲内の基本的知識・理解を確認します(40点)。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	老年心理学 (Aging Psychology)	授業コード	E045951
担当教員 山本 義史				
学修内容				
1. 高齢者を考える 実際に、高齢者にかかわる心理学実験や心理テストを実施して自己分析し、それをもとに高齢者の心理について考えてみます。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	「FAQと老人(高齢者)イメージ調査」に回答して提出します。			約2時間
2. 高齢者と加齢をめぐる心理学的考察の歴史と展望 加齢にともなう行動の変化や高齢者にかかわるこれまでに得られた心理学の成果や研究史について紹介し解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	生物学的加齢と心理的加齢についてその違いについて考えてみます。			約2時間
3. 生物学的加齢と心理的加齢 生物学的加齢と「こころ」の加齢の関係を中心として、心理的加齢を理解するためには、多様な要因を考慮することが重要であることを解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	誕生や病気、老化や死に対する嫌悪感・不快感・恐怖感、幸福感などの感じについて考えてみます。			約2時間
4. 生物学的加齢と心理的加齢 生物学的加齢と「こころ」の加齢の関係を中心として、心理的加齢を理解するためには、多様な要因を考慮することが重要であることを解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	加齢や老化について今まで持っていたイメージとの食い違いや気づいた点について考えてみます。			約2時間
5. 高齢者を取り巻く社会的環境 高齢者を取り巻く社会的環境について、高齢者人口、世帯構成、ライフスタイル(就労、グループ活動など)といった各側面から考えます。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	どのような超高齢社会を構築していくのが望ましいと思うかについて考えてみます。			約2時間
6. 高齢者を取り巻く社会的環境 高齢者を取り巻く社会的環境について、高齢者人口、世帯構成、ライフスタイル(就労、グループ活動など)といった各側面から考えます。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	理想とする高齢者像について、社会的環境あるいはプロダクティビティとの関係について考えてみます。			約2時間
7. 注意と加齢(1) 高齢者の注意機能について、どのような課題で加齢の影響がみられるかに関する研究を紹介し、解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	第13回の授業資料のためにアンケートに回答します。			約2時間
8. 注意と加齢(2) 高齢者の注意機能について、抑制機能における加齢の影響に関する研究を紹介し、解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	若齢者も高齢者もより安全で快適な生活を送ることができる車社会について考えてみます。			約2時間

○授業計画	科目名	老年心理学 (Aging Psychology)	授業コード	E045951
担当教員 山本 義史				
学修内容				
9. 記憶と加齢 高齢者の記憶研究について、実験的なアプローチと日常的な出来事についての日常記憶の研究から解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	高齢者の記憶についてどのように対応・サポートしようと思うかについて考えてみます。			約2時間
10. 知能、知恵、創造性と加齢(1) 知的機能に対する加齢の影響に関する研究で、高次で複雑な構造を持つ知能について解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	高齢者の知能について、身近な高齢者を例に挙げて考えるところについて考えてみます。			約2時間
11. 知能、知恵、創造性と加齢(2) 高齢期における、知恵や創造性について解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	理想とする高齢者像(成人像)について、特に知恵と創造性の観点から考えてみます。			約2時間
12. 情動・感情と幸福感と加齢 加齢とともに感情はどのように変化するかを見ていき、加齢における情緒的適応はどのように測定するのか、そしてその情緒的適応を支える要因を解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	学んだ高齢者の感情や幸福感があてはまる稼働を考えてみます。			約2時間
13. 性格と加齢 性格について解説し、性格の加齢にともない変化する側面と、比較的安定している側面について紹介します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	身近な高齢者の性格の変化や老年的超越について考えてみます。			約2時間
14. 高齢期の社会関係 高齢者の社会関係と豊かな社会関係を持つことが高齢者の心理的・身体的なウェル・ビーイングにどのような効果を与えるのかについて解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	高齢者にとって豊かな社会関係をつくるアイデアについて考えてみます。			約2時間
15. 臨床: 高齢期の心理的問題と心理的介入 高齢期における重要な心理的問題について、認知症と介護を中心に各問題を解説します。そして、高齢者に対する心理学的介入について、現状とその手法を臨床心理学的観点から解説します。				
予習	ワークノートを予習してきます。できれば空欄を埋めてみます。			約2時間
復習	高齢者の心理的問題について、周囲が気を付けておいたり、注意すべきことを考えてみます。			約2時間
16. 期末試験 授業中に学んだ内容を特に知識や理解の観点から確認する試験です。				
予習	期末試験に備えてワークノートを整理しておきます。			約2時間
復習	ありません。			約2時間